

周防大島町 議会だより

2021.1
第64号

発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003 (議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／中村印刷(株)

今回の主な内容

- 第2回臨時会 …………… 2～3P
- 第4回定例会 …………… 4～6P
- 全員協議会 …………… 7P
- 一般質問(6人登壇) …… 8～13P
- 新年の抱負 …………… 14～15P
- 議会活動報告 …………… 16P

迎春



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

編集委員会では、表紙の写真撮影から原稿・紙面レイアウトの作成等を行っています。

議会の活動や審議の内容をより見やすく、よりわかりやすくお伝えし、より多くの町民の皆様に興味をもって読んでいただけるような議会だよりの作成に取り組み、新しい企画として今号から「審議した議案とその結果」を一覧表にし、各議員の賛否を掲載いたします。

今後も町民の皆様のご意見をいただきながら、進化を重ねてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議会広報編集特別委員会

初議会とは... 一般選挙後、議会が適法に活動するための内部構成（正副議長選挙、議席の指定、各常任委員会委員及び正副委員長を選任）を整え、議案を直ちに審議できる体制にしておくための議会です。

議員改選後初めての議会となる令和2年第2回臨時会（初議会）を11月20日に開催し、議長・副議長の選挙、常任委員会および議会運営委員会の委員、正・副委員長、柳井地区広域消防組合議会議員、柳井地域広域水道企業団議会議員など新たな議会構成が決まりました。

また、執行部から報告が1件、専決処分として一般会計補正予算（第7号）、病院事業特別会計補正予算（第4号）、周防大島町病院等事業の施設等に関する条例の一部改正が上程され、次に一般会計補正予算（第8号）は既定の予算に1,300万円を追加のうえ、総額を17億6,420万4千円とし、続いて、周防大島町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について審議を行い、上程されたすべての議案を可決のうえ閉会しました。

審議した議案とその結果		結果	山中正樹	栄本忠嗣	白鳥法子	竹田茂伸	山根耕治	岡崎裕一	砂田雅一	田中豊文	新田健介	吉村忍	久保雅己	小田貞利	尾元武	荒川政義
賛成：○ 反対：●																
専決処分の承認 ※ 1																
一般会計補正予算（第7号）	905 万 6,000 円	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
(内訳) 新型コロナウイルス対策 保健衛生対策事業（PCR 検査センター整備） 729 万 9,000 円 病院事業特別会計繰出金（職員危険手当） 175 万 7,000 円																
病院事業特別会計補正予算（第4号） 175 万 7,000 円																
(内訳) 新型コロナウイルス対策 一般会計繰入金（職員危険手当） 175 万 7,000 円		可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
病院等事業の設置等に関する条例の一部改正		可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
町立東和病院の病床数を「一般病床99床」から「一般病床45床 療養病床54床」へ改める																
令和2年度 周防大島町補正予算																
一般会計（第8号）	1,300 万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(内訳) 災害応急復旧事業 工事請負費 1,300 万円																
条例の一部改正																
一般職の職員の給与に関する条例等		可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
一般職職員、町議会議員、町長、副町長及び教育長の期末手当支給割合を 0.05 月分引き下げる 反対討論：砂田雅一議員																

議長は議事進行をおこなうため、賛否表明はしません。 ※ 2

※1：専決処分とは... 町長が議会に代わり、議会の議決すべき事件について、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないと明らかであると認められるときに行うことです。その効果は議会が議決したのと全く同じ法律効果が発生します。専決処分を行った場合は、次の議会において報告をし、承認を求めなければなりません。

※2：賛否同数の場合は、議長が決することになります。

正・副議長選挙の結果

議長 荒川 政 義

副議長 尾 元 武

総務文教常任委員会（7名）

委員長 久保雅己
副委員長 山中正樹
委員 山根耕治
田中豊文
新田健介
小田貞利
荒川政義

所管に関する事項

- ・総務部（政策企画課、総務課、財政課、税務課、契約監理課）
- ・総合支所
- ・会計管理者（会計課）
- ・教育委員会
- ・議会、選挙管理委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会

民生常任委員会（7名）

委員長 吉村 忍
副委員長 岡崎裕一
委員 山中正樹
栄本忠嗣
竹田茂伸
田中豊文
尾元 武

所管に関する事項

- ・健康福祉部（健康増進課、福祉課、介護保険課、久美保育所）
- ・病院事業局

建設環境常任委員会（7名）

委員長 新田健介
副委員長 栄本忠嗣
委員 白鳥法子
山根耕治
岡崎裕一
砂田雅一
吉村 忍

所管に関する事項

- ・産業建設部（商工観光課、農林課、水産課、建設課）
- ・環境生活部（生活衛生課、下水道課、水道課）

議会運営委員会（6名）

委員長 小田貞利
副委員長 白鳥法子
委員 砂田雅一
新田健介
吉村 忍
久保雅己

以下について調査を行い、議案、請願等の審査をします。

- ・議会の運営に関する事項
- ・議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ・議長の諮問に関する事項

柳井地区広域消防組合議会議員

吉村 忍 久保雅己

柳井地域広域水道企業団議会議員

竹田茂伸 山根耕治

常任委員会とは ... 地方公共団体の議会が条例で設置する委員会のうち、一定の部門の当該地方公共団体の事務に関する調査及び議案、請願等の審査を行う委員会のことです。

令和2年第4回 周防大島町議会 定例会の概要

会期：12月9日（水）
～23日（水） 15日間

本会議

議案審議 ...12月9、23日
一般質問 ...12月21日
討論・採決 ...12月9、23日

常任委員会

議会運営委員会 ...12月2、21日

審議した議案とその結果 賛成：○ 反対：●		結果	山中正樹	柴本忠嗣	白鳥法子	竹田茂伸	山根耕治	岡崎裕一	砂田雅一	田中豊文	新田健介	吉村忍	久保雅己	小田貞利	尾元武	荒川政義
同意案件																
監査委員の選定（識見を有する者：大原秀三氏）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選定（議会選出：新田健介議員）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○
令和2年度 周防大島町補正予算																
一般会計（第9号） 1億3,310万1,000円 反対討論：田中豊文議員 賛成討論：吉村 忍議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計 604万6,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療事業特別会計 692万4,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険事業特別会計 95万9,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
渡船事業特別会計 39万2,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業特別会計 694万2,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計 96万5,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
病院事業特別会計 反対討論：田中豊文議員	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計（第10号） 618万5,000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の一部改正																
病院事業管理者が医師である場合の給与等 反対討論：田中豊文議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スクールバス条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業及び下水道事業の設置等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の選定																
陸上競技場及び総合体育館の指定管理 反対討論：田中豊文議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

欠席

議長は議事進行をおこなうため、賛否表明はしません。 ※2

※1：本人は採決に参加しません。

※2：賛否同数の場合は、議長が決することになります。

藤本町長 所信表明



初日には藤本町長より、この地で暮らすこと、生活をする、家族と過ごすこと、歴史、文化、芸術、自然を感じる楽しい島。災害やコロナ対策など危機対応にも取り組む安心安全のまちづくりを実現し、住環境や仕事の充実、住民の多様性を認めるようなあらゆる世代の人が住みたい島、住みたくなるような住みたい島。最後の「いきたい」には2つの意味があり、長生きして良かったと感じる高齢者福祉の充実であり、利用しやすい医療と福祉の提供や

活用しやすい公共交通の充実をはかる生きたい島、もう一つは、多くの人に周防大島に遊びに行きたいと思っていたきたい。交流人口と関係人口の増加を目指し、農林水産業や商工業、観光業の充実により周防大島ブランドを手にする行きたい島。

「たのしい島、すみたい島、いきたい島」を町づくりのビジョンとして、これらの実現に向け、しっかりと取り組んでいくとの所信表明がありました。

次に、①行政改革等について、②米軍岩国基地関連についての行政報告があり、その後に提出議案の説明を受け質疑が行われました。その概要については、4ページの表のとおりです。

また、各特別委員会委員を選出しました。(6ページ)

21日の一般質問には6名の議員が登壇し、

○新田健介 議員(8ページ)

コロナ禍における避難所開設に関する進捗状況/出張所(棕野)の閉鎖/ゴミステーション/廃校の利活用

○田中豊文 議員(9ページ)

役場の組織改革と人づくり/病院再編計画の実行と労働環境

○山根耕治 議員(10ページ)

生活にかかわるインフラストラ

クチャーや施設のあり方についての住民からの意見収集とその反映

○白鳥法子 議員(11ページ)

出産・子育て支援/公共交通の充実

○竹田茂伸 議員(12ページ)

公立病院経営の在り方/地方公共団体行政事務の民間活力の導入

○吉村 忍 議員(13ページ)

イノシシ対策/地域公共交通/不法投棄対策

について、多くの議論が交わされました。

最終日の23日には、初日に質疑を行った、一般会計をはじめとする補正予算、条例の一部改正について討論採決が行われました。また、ひとり親世帯臨時特別交付金

事業に対する一般会計補正予算第10号について、質疑・討論・採決が行われ、本定例会に上程された

全ての議案は原案のとおり可決のうえ閉会となりました。

新しい監査委員の紹介

代表監査委員(識見を有する者)

大原秀三氏(新任)



第4回定例会において選任の同意を得て12月19日から4年間の任

期の監査委員に就任いたしました。令和2年4月1日から施行の地方自治法の改正に伴い監査委員監査についても考慮すべき事項が多々あります。地方自治法改正の目的を十分に理解し、効率的な監査等を実施して行きたいと考えています。まずは現状把握を職員の皆様の御理解、御協力を得て早急に行い、町民の皆様の福祉の増進に少しでも貢献したいと考えています。

監査委員(議会選出)

新田健介氏(新任)



その責務の重大さ、そして責任の重さに、改めて身の引き締まる

思いでいっぱいです。甚だ微力ではございますが、諸先輩方のこれまでのご功績をしつかりと引き継ぎ、私自身もしつかりと努力してまいります。

特別委員会とは ... 特に必要があると認めた案件又は常任委員会の所管に属しない特定の案件を審査するため、常任委員会及び議会運営委員会のほかに設置された委員会のことをいいます。

岩国基地関連対策特別委員会（8名）

委員長 久保雅己
副委員長 新田健介
委員 栄本忠嗣
岡崎裕一
吉村 忍
小田貞利
尾元 武
荒川政義

米軍岩国基地が存在し、米軍再編の状況によっては、本町の住民生活環境への影響がどのように想定されるのか、また、住民負担の軽減と安心安全をどう確保していくのか、岩国基地関連の対策について、関係機関との連携、情報交換をとおして、最良策を検討することについての調査・研究を行います。

地域活性化・害獣・防災対策特別委員会（7名）

委員長 田中豊文
副委員長 岡崎裕一
委員 山中正樹
白鳥法子
吉村 忍
久保雅己
尾元 武

地域資源を活用した人口定住を推進するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大により生じた問題の解決に向けて取り組みます。また、害獣による被害の拡大を抑制し、加えて、近年多発する自然災害に日ごろから備えるため、町内全域として、あるいは地域としてどのように取り組んで行くべきかの調査・研究を行います。

議会広報編集特別委員会（7名）

委員長 吉村 忍
副委員長 栄本忠嗣
委員 山中正樹
白鳥法子
竹田茂伸
山根耕治
岡崎裕一

議会広報の編集・発行
(年4回・各定例会)
町民の皆様にご覧いただき、
見やすい広報の作成・情報収集を行います。

行政・病院事業改革特別委員会（8名）

委員長 小田貞利
副委員長 竹田茂伸
委員 栄本忠嗣
山根耕治
砂田雅一
新田健介
尾元 武
荒川政義

人口減少が進む中、スリム化による効率的な行財政運営を行うためには、旧町から引き継いだ財産の整理及び組織・機構の見直しを図る必要があります。また、再編を開始した病院事業の運営状況を検証するとともに、町民の安心安全を確保するため、今後の医療体制について調査・研究を行います。

全員協議会とは ... 議員全員で行うもので、その限りでは本会議と同じですが、地方自治法や会議規則で決められているものではなく、審議、決議は行いません。一般的には、議会から選出されている一部事務組合議員の報告など、議員全員が共通の認識を持つために開かれます。

全員協議会の概要

病院事業再編計画の 進捗状況について

12月9日開催

病院事業局より説明があり、6名の議員（吉村、竹田、白鳥、新田、尾元、田中）から発言がありました。

病院事業局の経営について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設の患者数・利用者数が激減
- 再編計画に比べ収支が悪化の見込み
- 第一期再編計画の見直し
- 第二期再編計画素案の前倒しが必要

橘医院の今後について

- 橘医院の夜勤人員の確保が困難な状況
- 他の施設からの職員の異動も困難

2月1日より入院患者の受け入れを休止し、現在ある19病床を休止したい

周防大島町総合計画（素案）について

12月21日開催

藤本町長より説明があり、5名の議員（田中、白鳥、小田、新田、山根）から発言がありました。

新たな周防大島町総合計画の策定について

平成18年度から令和2年度までを計画期間とする「周防大島町総合計画」が本年度で最終年度を迎えました。

そこで、今後10年間を見据えた新たな総合計画を策定する必要があり、その基本構想と前期5年間の基本計画について策定するものです。

基本理念

豊に暮らす 個性を活かす 人が活躍する

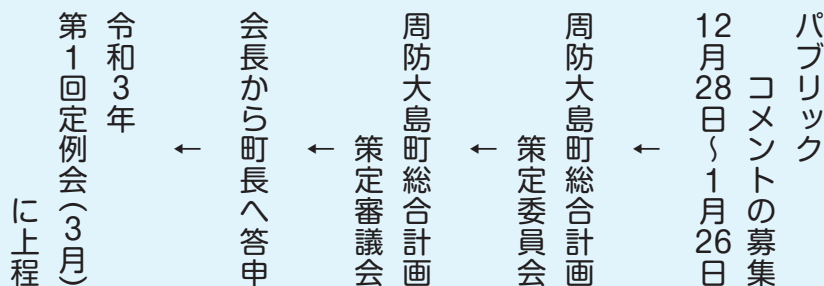
目指す将来像

人と自然が響きあう笑顔あふれる安心のまち周防大島
～私たちの たのしい すみたい いきたい島～

基本目標

1. 自然と共生した快適で活力あるまちづくり
〔産業の振興、生活環境の整備、都市基盤の整備、定住の促進〕
2. 人が元気で活躍まちづくり
〔学校教育、生涯学習、人権、男女共同参画、文化・スポーツ、交流〕
3. 安心・安全で思いやりに満ちたまちづくり
〔健康、医療、福祉、防災、消防・救急、交通安全・防犯〕

今後の スケジュール





新田 健介 議員

コロナ禍における避難所開設 についての進捗状況について

問 新型コロナウイルス感染症が未だ収束しない中、避難所開設に関しての進捗状況について伺います。特に、定員数と、それを超えた場合の臨時の避難場所を選定していますか。

また、避難所を担当する職員に対して、各種マニュアルなどは周知徹底されているのかお聞きします。

答 基本的には、開設している避難所の近隣施設を確保し、職員配置を考慮したうえで、状況に応じて増設していく必要があると考えています。

マニュアルなどの職員への周知については、毎年配布する「警

報・注意報発表時の対応マニュアル」に併せ周知していきます。

出張所(棕野)の閉鎖について

問 行政改革の一環として、棕野出張所の閉鎖が検討されています。11月9日に住民に対して説明会が行われましたが、参加者も少なく、まだまだ検討の余地があるのではないかと考えます。

私自身、棕野の方々に現状を伺って回りましたが、近隣の久賀総合支所や蒲野出張所などに行こうにも行けないと言う声が多くありました。何の代案もなまま進めるのでは、住民サービスの低下は免れず、このまま即閉鎖ということには大きな問題があると感じています。

今後、さらに説明会を開催する予定はないのでしょうか。また、4月から即閉鎖という事ではなく、週に何回かは職員を配置する、あるいは交通手段を確保する、通送使用のポストを設置する、フリーダイヤルを設けるなどの代案を考えながら進め

て行くことは考えていないのかお尋ねします。

答 今まであった出張所がなくなることに關して地域の皆様は不安な気持ちがあると思います。

年明けになりますが、再度説明会を実施し、先日の説明会で頂いたご意見やご要望に回答しながら丁寧の説明していきたいと考えています。

ゴミステーションについて

問 ゴミステーションについては基本的には各自治会に1か所という方針のようですが、その設置基準について伺います。

また高齢化が進み、ゴミステーションまでゴミ出しに行くことが困難な方も増えていることを鑑み、地理的状況なども考慮し、設置場所を増やすなどの対応も必要なのではないかと考えますが、執行部の見解を伺います。

答 設置基準は、以前から設けています。先日、各自治会へゴミステーションに関するアン

ケートを実施したので、その結果を踏まえ、新設の要望があった場合には前向きに検討していく必要があると考えています。

廃校の利活用について

問 次年度、安下庄中学校、東和中学校、油田小学校が閉校となり、今後も町内の他の小中学校において統廃合の可能性がある中で、学校施設の利活用は重要な問題であると考えています。耐震工事や空調整備などが終わっている校舎も多く、早期に再利用・利活用を模索すべきであると考えます。

今後の利活用について、町長、教育長の見解を伺います。

答 閉校した学校の後利用については、公有財産を有効活用する観点からも重要な課題です。油田小学校と安下庄中学校の後利用は白紙状態であり、今後地域の方々からご意見を拝聴したり、広報誌やホームページを活用し、広くアイディアを頂くことも必要であると考えています。



田中豊文 議員

役場の組織改革と 人づくりについて

問 役場の組織は、業務の多様化や職員数の減少など、より効率的な運営が求められていると共に、コンプライアンスや公金に対する目は厳しさを増し、公務職場に求められる厳格性や公正性は一段と増大しています。

これまで度重なる不祥事が起き、その度に再発防止に努めるという言葉だけで終わり、本腰を入れた改革は実行されていないのが現実と言えます。

再発防止はもとより、多様な地域課題に対応するための新しい組織づくりや人づくりについて、効率的かつ生産性

の高い職場環境を構築するための、業務全体を俯瞰する総合的な仕組みの改革によるシステムティックな人材育成が必要です。

役場組織において既に自浄能力が低下している状況にあつて、新しい人材育成の仕組みを構築するための議論・検討には外部の知見を導入せざるを得ません。

町民の信用を失えば、まちづくりの施策をどのように打ち出そうとも成果を上げることができず、この町の未来は暗たんたるものになる危険性すらありますが、この町の未来のために、新しい時代の組織づくり・人づくりの仕組みについて、これからのように議論・検討してその仕組みを構築していくのか、その手法論、また、不祥事に対する具体的な対策方法を伺います。

答 本町には大変多くの課題があり、それらをひとつひとつクリアしていくために、徹底した行政サービスの見直しなど、戦

略的な未来への投資が必要と考えています。

外部の知見を入れることや仕組みづくりの必要性は認識していますが、意識改革や研修を進めながら、まずは職員自らの取り組みで解決していきたい。

病院再編計画の実行と 労働環境について

問 1億円以上の費用を投じて策定した再編計画であるが、その議論の過程において繰り返し「反省と検証のない改革は無意味である」と指摘したにも関わらず、スケジュールありきで実行されている病院再編計画が、1年も経たないうちに実質的な見直しを迫られているということは、その指摘が正しかったことを証明しています。

コロナ禍や職員の休暇など突発的・短期的理由をもって長期的な計画を変更するなど到底理解できません。

改めて、反省と検証に立つた、将来を見据えた実効性のあ

る改革と計画策定を求めると共に、病院事業局管理者として、所期の目的が果たせるよう、計画の実行管理をどのように適正化し、どのような組織改革に取り組んできたのかについて伺います。

一方で、成果を求めるあまり労働環境が阻害されるようなことがあつてはならないが、病院事業局において適正な労働環境は維持されているのか、例えば、宿日直の際の救急対応について、適正な手当は支給されているのか。さらに、橘医院の病床休止について、町民の立場に立った対応のあり方についても伺います。

答 組織の将来像について職員全体が共通認識を持つことに課題を感じており、改善をしていきたい。宿日直の際の救急対応等の業務については、実態を調査の上、職員とも協議し法令に基づいて適正に対応をします。

橘医院の病床休止については入院患者や家族に寄り添った対応をしていきたい。



山根 耕治 議員

暮らしに必要な施設への
住民意見の反映について

問 私どもの周防大島町もこれから更なる行政改革が必須となつてきます。それを成功させるため必要なのは行政は謙虚な姿勢で、町民の意見を反映させることです。町の説明会などでは決定したことの説明で、町民の意見が入る余地のないものが多い印象があります。

社会的共通資本である病院や学校、公民館など町民の生活に直接かわかる施設のあり方に町民の意見を集め、計画に反映させる方法についての町長の考えを伺います。

答 病院については第一期再編計画の見直しの際に町民の皆様からアンケートをとるなどし、ご意見・ニーズを掘り起こし、可能なことは反映させていきたい。小学校については統合をすすめているところですが、周防大島町では地域と密着した学校運営が行われており、保護者をはじめ地域の方々から意見や要望をお聞きし、ご理解をいただきながら学校統合をすすめていきたい。

公民館・図書館などの社会教育施設のあり方については、「周防大島町教育の基本方針」のもと、社会教育委員会などを設置し、有識者などからの意見や助言を取り入れながら運営しています。

問 病院再編については、例えば人間ドックなどの予防医療に特化させるなど、永年の存続のために経営のあり方を見直していく必要があると考えます。小学校については、学校統合

ありきではなく、小規模校ならではのメリットを活かした運営の方法も考えていくべきではないでしょうか。

社会教育施設については有識者だけでなく公募などで住民の意見も取り入れるべきです。

いずれも町民の意見を取り入れ、反映させることにより力を入れるべきではないでしょうか。

答 町民の意見を集約するのは大切なことです。

それぞれの町民の声を受けとめ、精査することは大切であり、実行していかなければならないと考えています。

小規模校のメリットは感じていますが、学校運営は本町の実情から最適な方法を考えていかなければなりません。学校統合については保護者の方や地域の方々から意見を聴き、慎重に実行しているところです。

社会教育委員の公募については検討したい。



沖浦小学校と山口県立美術館などを5G回線で結んだアートスクールの授業



白鳥法子 議員

安心して出産・
子育てができるように

出産時のもしもに備えた体制
づくりの提案

問 妊婦の情報を事前に消防署に登録することで、緊急時に迅速に救急車で出産予定医療機関に搬送する仕組みが、産科のない他自治体の事例にあります。もしもの時を考えると妊婦の不安解消に役立つため、本町でも検討してはどうでしょうか。

答 救急時には、他の救急事例と同様に産婦人科のある二次・三次の救急医療体制が整備されており、現時点では事前登録は不要と考えています。

ファミリーサポートセンター事業の導入予定は？

問 近くに頼れる親族や友人がいない家庭でも「いざという時に頼れる場所がある」という安心感があります。

事業化のイメージやスケジュールはありますか。

答 ニーズ調査の結果、必要見込み数は16世帯で、国の設置基準（会員数50人以上）を満たさず単独での設置は困難です。

事故による損害賠償の事例があり、有資格者で実施する既存の事業が利用できるといった意見もあったことから、令和6年度以降の実施を目指します。

問 そもそも子供が少なく事業の認知度も低いためニーズ件数が少ないのでは？すぐに導入できないのはわかるので、一時預かりなど既存のサービスを手軽に利用しやすくしてほしい。

答 一時預かり、子育てショートステイ、延長保育、病児・病後児保育等は実施しているのので、気軽にご相談いただきたい。

わかりやすい情報発信を

問 出産・子育てのイメージが湧くように、島の実情、段階に応じた支援策が一体的にわかるような情報発信をしてほしい。

見直しの際には外部の視点や利用者側の目線も入れ、せっかくある支援が伝わるように工夫してもらいたい。

答 冊子を作成し町内各所に設置・当事者に配布しています。

また、町ホームページに、子育て支援全ての最新情報を掲載しています。

わかりにくいところがあれば、見直しの際には色々な意見を取り入れていきたい。

公共交通の充実と利用促進

今後の公共交通の確保・活用促進について

問 具体的な考えは？

答 地域公共交通の維持改善は、まちづくりの一環として進める必要があります。

策定中の総合計画の中で議論をし、具体的な計画を検討します。

その際は実証実験等を行い、より利便性・効率性の高いものにした。

要望 色々な段階で利用者の意見を聞き、試行・改善というステップも踏んで持続可能な仕組みとしてほしい。

4月から運行される一般混乗型スクールバス森野・油田線での試行料金の可能性について

問 テストケースとして、後期高齢者や運転免許返納者の乗車料金の上限を設定し、利用促進を図るなどの可能性はないでしょうか。

答 混乗型バスと防長バスを利用する方がおり、格差を避けるため同じ料金体系で考えていますが、今後検討の必要があると考えています。



平野から油宇へ向かう防長バス車内



竹田茂伸 議員

公立病院の使命と 地域医療について

問 日本は2025年問題を目前に、今後、長寿大国から老人大国になることが予想される中、平成21年3月の周防大島町公営企業局改革プランにおいて、3病院は町民にとって必要不可欠な病院であり、更なる経費節減などの抜本的な改革に努め、特殊な診療科については基幹病院に常勤医師を配置（例として整形外科は東和病院、眼科は橘病院、皮膚科は大島病院など）し、3病院での総合病院を目指し継続する旨が示されています。

このプラン発出後、赤字解消に向け相当の議論を重ねていることは熟知していますが、経営形態を公立病院として維持するのであれば、生命と健康を守る医療現場は、合理化・効率化といった企業性だけの観点ではなく、公共性を考えた医療難民をつくらない公立病院としてのユニバーサルサービスの使命を果たさなければなりません。

公立病院の使命と地域医療についての見解を伺います。

答 公立病院の使命は地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の生命と健康を守ることであり、地域医療については、地域に必要な医療を提供することだけでなく、地域の健全な発展に貢献することであると考えています。

橘医院に眼科医の配置を

問 橘医院に眼科がなくなり橘地区の患者は薬の受け取り等で

困っています。

つきましては、橘医院に眼科の医師の配置を要望します。

答 地域住民の皆様には、眼科診療について大変ご不便をお掛けしています。

非常勤医師の退職により、3医療機関において眼科診療を継続することが難しく、眼科の医療機器を東和病院に移したため、橘医院での眼科の診療は困難となっています。



橘医院全景

地方公共団体行政事務の 民間活力の導入について

問 住民サービスを低下させずに、いかに行政のスリム化を図るかという課題の中で、令和2年7月に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」の中に郵便局の活用について記述があります。

民間活力を活用する方法として、郵便局の地方公共団体行政事務受託業務（住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本等の公的証明書の交付や国民健康保険など各種申請書の受付）の導入について町長の見解を伺います。

答 行財政改革を進めるには、郵便局への行政事務委託をはじめ民間の力を導入するなどの施策が重要であり、施設の統廃合などと並行しながら検討し、開始時期については総合的に判断したいと考えています。



食害に遭った
外入地区の伊予柑畑

問 現在の「捕獲と防御と棲み分け」の対策に加え、新たな対策を講じなければ、町民の生命と財産を守れない段階に來ています。
今後のイノシシ対策の方針を伺います。

イノシシ対策について



吉村 忍 議員

答 「捕獲」と「防御」の施策は今後も継続していくと共に、「生息地の管理」を本格的に実施していく必要があると考えています。

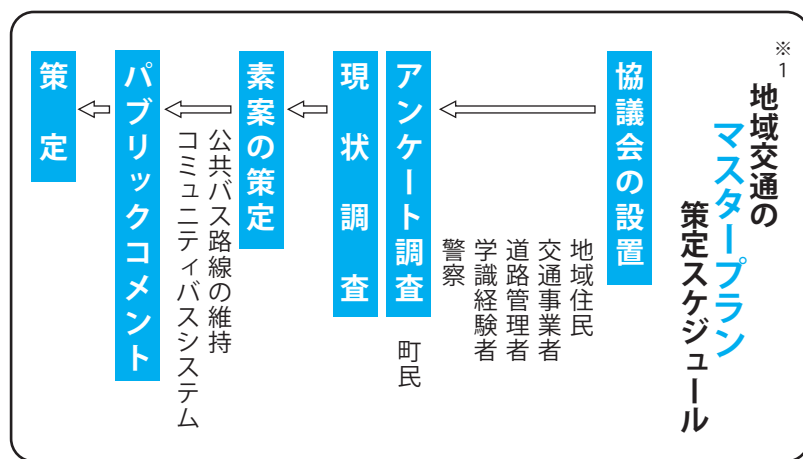
また、今後の対策をより効果的に実施するためにも、生息数や生態の把握は必要であり、その方法等について、検討していきたい。

地域公共交通について

問 自ら交通手段を持たない買い物弱者や今後の役場出張所の廃止に伴い来庁が困難となる方、町立病院への通院で乗り換え便がなく帰宅困難となっている方、通学が不便な高校生。高齢者や身体障害者等の交通弱者のため、地域公共交通の整備は喫緊の課題であると考えますが、町長の所見を伺います。

答 町内の公共交通の現状・問題点、課題の整理を行い、町が中心となり、交通事業者、地域住民と連携した、地域交

通のマスタープラン※1を策定し、公共交通網をその計画に沿って整えていかなければならないと考えています。



また、このマスタープランを策定するためには、ある程度の時間が必要になると想定されますが、現状を踏まえつつ、実施に向け、早急に検討を進めていきたい。

不法投棄対策について

問 後を絶たない道路沿いや漁港等での不法投棄について、これまで以上の防止対策を講じる必要があると考えますが、執行部の見解を伺います。

答 これまでの啓発型のものに加え、効果的な対策※2という観点からの周知（ホームページ及び広報）を考えています。



不法投棄常習箇所

※2 不法投棄防止の効果的な対策

- ☆管理地の様子を定期的に確認する
- ☆早期に発見し、素早く撤去
- ☆監視カメラの設置

新年のご挨拶



議長 荒川政義



新年明けましておめでとうございます。
 皆さま、

町民の皆様方におかれましては、町議会の活動に對しまして、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、議員一同、心から感謝いたしております。昨年を顧みますと、新型コロナウイルスの感染拡大は、まったくもって収束の兆しが見えず、平成30年に発生した、

大島大橋への貨物船衝突事故から復興した本町の地域経済に、再び追い打ちをかける事態となりました。

「新しい生活様式」が求められる中、新型コロナウイルスとの共存は避けて通ることはできませんが、必ずや打ち勝ち、町の経済を立て直すため、今後もきめ細かく取り組んでまいりる所存です。

一方、議会では、9月定例会からタブレットを本格導入し、ペーパーレス化を実現し、議員活動や議会運営の一端を改革することができました。

また、11月14日をもって新たな顔ぶれとなり、6名の新人議員が誕生したことは明るい出来事であり、今後の活躍を期待するところであります。

12月定例会では議会の中に4つの特別委員会を立ち上げ、そのうちの「行政・病院事業改革特別委員会」では、旧町から引き継いだきた財産の整理、組織・機構の見直し、令和2年4月から再編が始

まった病院事業の運営については、その状況を注視し、関係各位のご理解とご協力を得ながら、島に公立病院を存続させるため、今後の医療体制について検証を重ねてまいります。

本年も、皆様のご期待に沿えられるよう、誠心誠意努力いたす所存でございますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

副議長 尾元 武



時代の潮流に残されることなく、皆様の声を反映できるものと住みよい町づくりを目指します。

山中正樹議員



地方創生の先頭を走り、介護福祉、教育の充実、防災減災に全力を尽くしてまいります。

栄本忠嗣議員



周防大島町の発展のため、初心を忘れず、誠心誠意努めてまいります。

白鳥法子議員



まちづくりを身近に。暮らしの中の気づきを皆様と一緒に見つめていきたいと思っています。

山根耕治議員



厳しい新年をお迎えの方も多いと思います。ともにいまをのり越えましょう。

砂田雅一議員



町民の立場で町政をチェックし、暮らしを応援する施策をしつかり提案して頑張ります。

新田健介議員



町民の皆様に取り添い、数多ある諸問題に全力投球で取り組んでまいります。

久保雅己議員



住民の声を町政に、安心・安全に暮らせる町づくりに努力します。

竹田茂伸議員



地域格差の無い町民の幸せを一番に考える視点で町づくりに全力を尽くします。

岡崎裕一議員



謙虚に学び、より良いまちづくりに邁進してまいります。

田中豊文議員



小さな声こそ大切に。議員報告会・議員だより・しまかぜブログ継続します。

吉村忍議員



使命感・責任感そして情熱、さらに行動力を以って、地域の課題に全力で取り組みます。

小田貞利議員



地域格差のない、公平な行政サービス実現のため、全力を尽くします。

議会活動報告

議会の活動を時系列でご報告します。
今回は10月1日から12月31日まで、
3カ月間の活動報告となります。

月日 【内容（場所・出席者・参加者） ※議席順】

10月1日 議会広報編集特別委員会

10月2日 第2回周防大島町総合計画策定審議会（尾元・荒川）

10月9日 令和2年度周防大島町人権施策推進協議会（尾元）

10月12日 令和2年第2回山口県後期高齢者医療広域連合議会定例会（山口市 荒川）

10月19日 つり銭検査（小田）

10月27日 全国離島振興市町村議会議長会理事会（Web）（荒川）

10月29日 令和2年度第1回周防大島町社会教育委員会及び
第1回公民館運営審議会（久保）

〃 例月現金出納検査・定期監査（小田）

11月2日 令和2年第2回山口県市町総合事務組合議会定例会（山口市 荒川）

11月4日 山口県町議会議長会定例会（山口市 荒川）

〃 第2回周防大島町高齢者保健福祉推進会議（松井）

11月6日 第2回周防大島町障害者福祉計画策定委員会（荒川）

〃 定期監査（小田）

11月8日 令和2年度山口県町議会議実務研修会打ち合わせ（山口市 荒川）

11月9日 令和2年度山口県町議会議実務研修会（山口市 新田・吉村・尾元・荒川）

11月10日 全国離島振興市町村議会議長会令和2年度臨時総会（Web）（荒川）

11月11日 岩国基地周辺地域の振興策に関する要望
（東京都 荒川）

11月12日 議員打ち合わせ会

11月16日 議員打ち合わせ会

11月20日 第2回臨時会（初議会）

11月24日 全国会代表者政府要望
（25日）第64回町村議会議長会全国大会ほか（東京都 荒川）

12月2日 議会運営委員会

12月3日 正副議長就任あいさつ（近隣市町 尾元・荒川）

12月4日 令和2年度町議会議実務研修会
（山中・栄本・白鳥・竹田・山根・岡崎・吉村）

12月9日 第4回定例会（本会議）

〃 全員協議会

12月10日 岩国基地問題議員連盟連絡協議会並びに
岩国基地問題に関する議員連盟合同役員会（山口市 荒川）

12月14日 第3回周防大島町総合計画策定審議会
（尾元・荒川）

12月18日 令和2年度第2回
国民健康保険運営協議会（吉村）

12月21日 議会運営委員会

〃 第4回定例会（本会議）

〃 全員協議会

12月23日 第4回定例会（本会議）

〃 地域活性化・害獣・防災対策特別委員会

12月24日 柳井地区広域消防組合議会第2回
定例会（柳井市 吉村・久保）

〃 議会広報編集特別委員会

12月25日 監査委員辞令交付式

〃 例月現金出納検査・定期監査（新田）

〃 柳井地域広域水道企業団議会第2回
定例会（柳井市 竹田・山根）

12月28日 議会広報編集特別委員会

◆ 編集委員 ◆

委員長	吉村 忍
副委員長	栄本忠嗣
委員	山中正樹
	白鳥法子
	竹田茂伸
	山根耕治
	岡崎裕一

周防大島町

周防大島町議会

検索



議会広報・議事録
を公開しています。
議事録は各図書館
にも備えています。